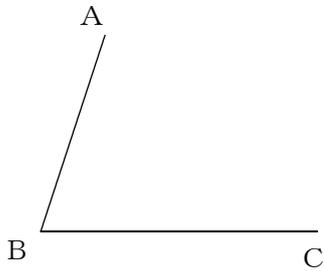


組 番 名前

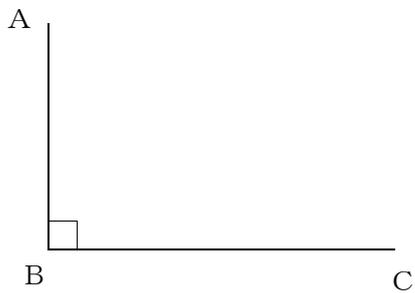
---

次の(1)～(4)を作図しなさい。

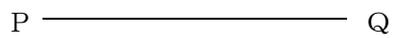
(1) 平行四辺形A B C D



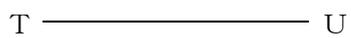
(2) 長方形A B C D



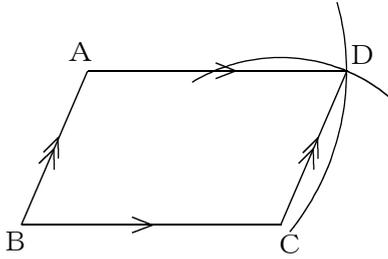
(3) 2つの対角線がそれぞれ $AC = PQ$ ,  $BD = RS$ となる平行四辺形A B C D



(4) 1辺の長さがTUのひし形A B C D



(1)



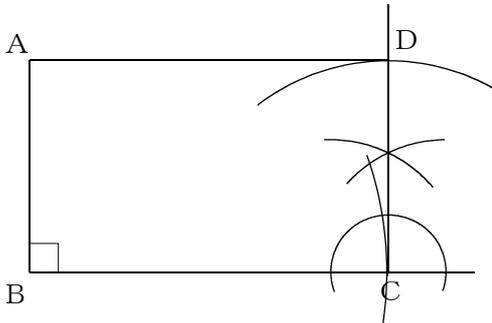
【解答例】

平行四辺形になるための条件

「2組の対辺がそれぞれ等しい」を使って、

- ①Cを中心に、半径BAの円をかく。
- ②Aを中心に、半径BCの円をかく。
- ③①②の円の交点のうち、反時計回りに ABCDの順になる交点をDとし、AとD、CとDをそれぞれ結ぶ。

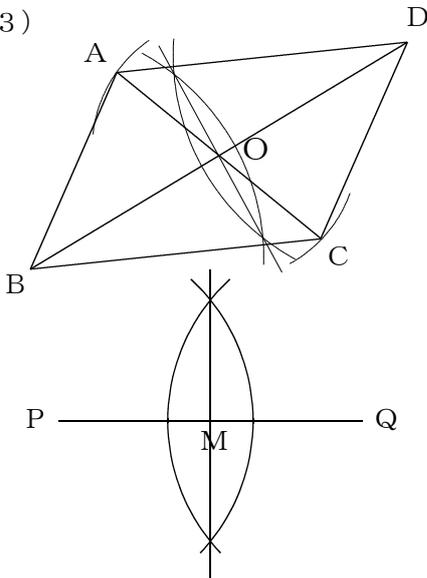
(2)



【解答例】

- ①点Cを通るBCの垂線を引く。
- ②点Cを中心に、半径BAの円をかく。
- ③①と②の交点をDとし、点Aと結ぶ。

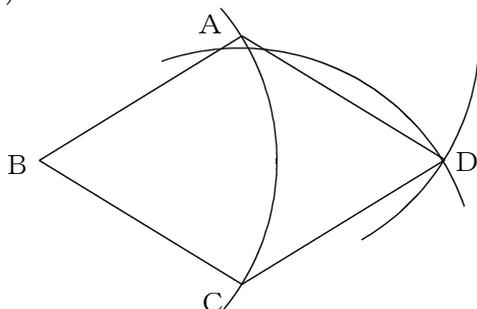
(3)



【解答例】

- ① $BD = RS$ となる線分BDを引く。
- ②BDの垂直二等分線を引き、BDの中点をOとする。
- ③PQの垂直二等分線を引き、PQの中点をMとする。
- ④Oを中心に、半径PMの円をかく。
- ⑤④の円の直径の両端で、直線BD上にない2点を選び、その2点を反時計回りに ABCDの順になるように、点A、点Cとする。そしてAとB、BとC、CとD、AとDをそれぞれ結ぶ。

(4)



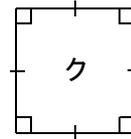
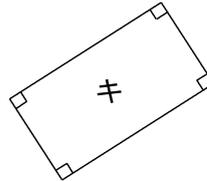
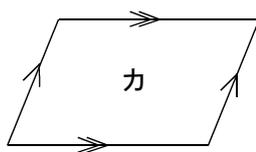
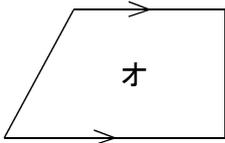
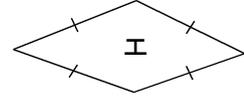
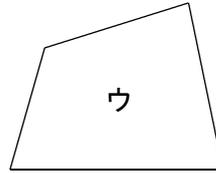
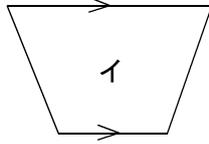
【解答例】

- ①点Bを適当に決め、Bを中心に、半径TUの円をかく。
- ②①の円周上の適当な2点を取り、その2点を、反時計回りにABCとなるようにA、Cとする。
- ③AとCを中心に、それぞれ半径TUの円をかく。
- ④③の交点をDとし、 ABCDを順に結ぶ。

数学2 5章 図形の性質と証明 「平行四辺形の性質」 <基本問題②>

組 番 名前

① 次のア～クの図の中から、台形、平行四辺形、長方形、ひし形、正方形をそれぞれすべて選び、記号で答えなさい。



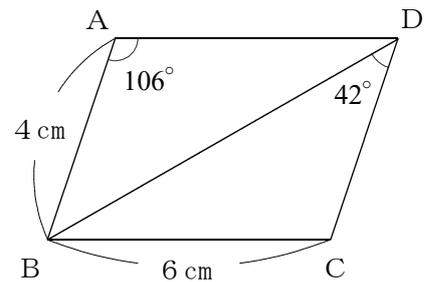
台形・・・( )      平行四辺形・・・( )  
 長方形・・・( )      ひし形・・・( )  
 正方形・・・( )

② 右の図の平行四辺形ABCDについて、次の問いに答えなさい。

(1) 辺ADの長さを求めなさい。

(2)  $\angle BCD$ の大きさを求めなさい。

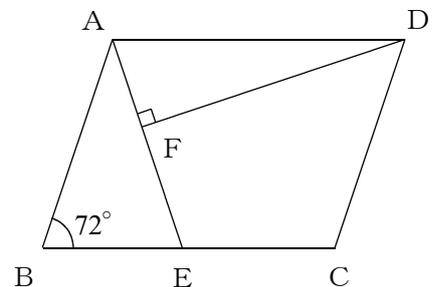
(3)  $\angle ADB$ の大きさを求めなさい。



③ 右の図の平行四辺形ABCDで、 $AB = AE$ 、 $AE \perp DF$ 、 $\angle B = 72^\circ$  のとき、次の問いに答えなさい。

(1)  $\angle BAE$ の大きさを求めなさい。

(2)  $\angle ADF$ の大きさを求めなさい。



1

台形 . . . . . ア, イ, エ, オ, カ, キ, ク

平行四辺形 . . . . . ア, エ, カ, キ, ク

長方形 . . . . . ア, キ, ク

ひし形 . . . . . エ, ク

正方形 . . . . . ク

2

(1)  $AD = 6 \text{ cm}$                       (2)  $\angle BCD = 106^\circ$                       (3)  $\angle ADB = 32^\circ$

【解説】

(1)  $AD = BC = 6 \text{ cm}$

(2)  $\angle BCD = \angle A = 106^\circ$

(3)  $\angle ADB = 180^\circ - \angle A - \angle ABD$

$$\begin{aligned} \angle ABD &= \angle CDB \text{ (平行線の錯角は等しい)} \\ &= 180^\circ - 106^\circ - 42^\circ = 32^\circ \end{aligned}$$

3

(1)  $\angle BAE = 36^\circ$                       (2)  $\angle ADF = 18^\circ$

【解説】

(1)  $\angle BAE = 180^\circ - 72^\circ \times 2 = 36^\circ$

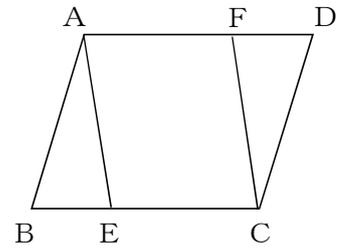
(2)  $\angle DAF = \angle DAB - \angle BAE = (180^\circ - 72^\circ) - 36^\circ = 72^\circ$

$$\begin{aligned} \angle ADF &= 180^\circ - (72^\circ + 90^\circ) \\ &= 18^\circ \end{aligned}$$

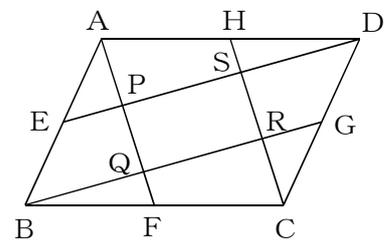
組 番 名前

---

- 1 右の図のような平行四辺形 $ABCD$ の辺 $BC$ 、 $AD$ 上に、 $BE = DF$ となるように点 $E$ 、点 $F$ をとる。このとき、四角形 $AECF$ は平行四辺形であることを証明しなさい。



- 2 右の図のような平行四辺形 $ABCD$ で、辺 $AB$ 、 $BC$ 、 $CD$ 、 $DA$ の中点をそれぞれ $E$ 、 $F$ 、 $G$ 、 $H$ とする。 $AF$ と $DE$ 、 $BG$ との交点をそれぞれ $P$ 、 $Q$ とし、 $CH$ と $BG$ 、 $DE$ との交点をそれぞれ $R$ 、 $S$ とします。このとき、四角形 $PQRS$ は平行四辺形であることを証明しなさい。  
(証明)



数学2 5章 図形の性質と証明 「平行四辺形の性質」 <応用問題・解答>

1

(証明) 平行四辺形の性質より

$$AD \parallel BC \dots \textcircled{1}$$

$$AD = BC \dots \textcircled{2}$$

また、仮定より  $BE = DF \dots \textcircled{3}$

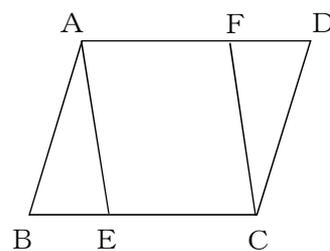
②, ③より  $AF = EC \dots \textcircled{4}$

また、①より  $AF \parallel EC \dots \textcircled{5}$

④, ⑤より,

1組の向かい合う辺が平行で等しいので  
四角形AECFは平行四辺形

\*別解あり



2

(証明) 四角形AFCHにおいて,  
四角形ABCDは平行四辺形であるから,  
 $AD = BC \dots \textcircled{1}$

仮定から,  $AH = \frac{1}{2} AD$ ,  $FC = \frac{1}{2} BC \dots \textcircled{2}$

したがって,  $AH = FC \dots \textcircled{3}$

また,  $AH \parallel FC \dots \textcircled{4}$

③, ④より, 四角形AFCHは平行四辺形だから,

$$PQ \parallel SR \dots \textcircled{5}$$

四角形BGDEにおいて,

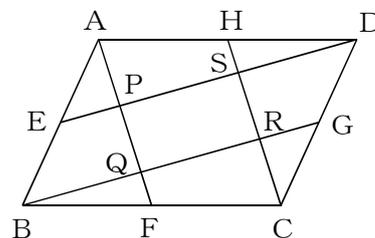
同様にして, 四角形BGDEは平行四辺形だから,

$$QR \parallel PS \dots \textcircled{6}$$

⑤, ⑥より,

2組の向かい合う辺がそれぞれ平行だから, 四角形PQRSは平行四辺形である。

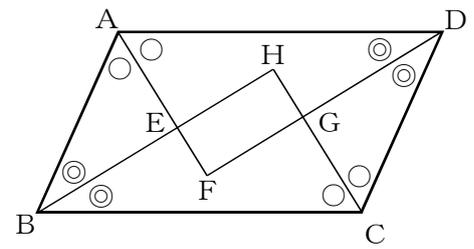
\*別解あり



数学2 5章 図形の性質と証明 「平行四辺形の性質」 <応用問題②>

組 番 名前 \_\_\_\_\_

- 1 T先生とSさんは、平行四辺形ABCDの4つの角の二等分線によってできる四角形EFGHがどのような図形になるか考えることにしました。

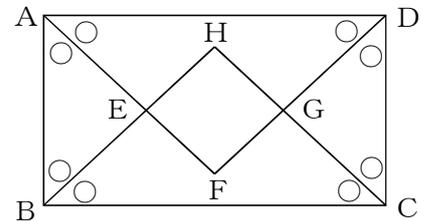


このとき、次の問いに答えなさい。

- (1)  $\angle AEB = 90^\circ$  となることを証明しなさい。

- (2) 四角形EFGHはどのような四角形か、もっとも適した名称で答えなさい。

- (3) 条件を変え、右の図のように平行四辺形ABCDを長方形にしたとき、四角形EFGHがどのような図形になるか、T先生とSさんは、下の【会話】のように考えました。



このとき、次の問いに答えなさい。

- ① 会話が成立するようにア、ウを埋めなさい

【会話】

T先生	平行四辺形のとくときと同様に考えればよいから、四角形EFGHは【ア】だね。
Sさん	それは、わかります。
T先生	これに加えて、 $\triangle AFD$ と $\triangle CHB$ は <u>合同な直角二等辺三角形</u> ですね。
Sさん	そうですね。だから、 $AF=BH=CH=DF$ ということもわかりますね。
T先生	そのとおり。
Sさん	それと、 $\triangle ABE$ と【ウ】も同様に考えれば、 $AE=【エ】$ ですね。
T先生	そうだね。
Sさん	つまり、四角形EFGHは【オ】です。
T先生	どうしてそう言えるの？
Sさん	【カ】
T先生	そうですね。これで確かめられましたね。

- ② 下線部イを証明しなさい。

- ③ エについて、辺AEと長さが等しい辺をすべて答えなさい。

- ④ オを埋めなさい。また、これが正しいことを、カに入るよう説明しなさい。

- (4) 平行四辺形ABCDをひし形に変えたとき、四角形EFGHはどうなるか答えなさい。

数学2 5章 図形の性質と証明 「平行四辺形の性質」 <応用問題②・解答>

1

(1) (証明)

仮定より  $AD \parallel BC$  だから、 $\angle DAB + \angle ABC = 180^\circ \dots \textcircled{1}$

また、 $\angle DAB = 2\angle EAB \dots \textcircled{2}$

$\angle ABC = 2\angle EBA \dots \textcircled{3}$

$\textcircled{1}$ ,  $\textcircled{2}$ ,  $\textcircled{3}$ より、 $2\angle EAB + 2\angle EBA = 180^\circ$

$$\angle EAB + \angle EBA = 90^\circ$$

三角形の内角の和は  $180^\circ$  だから、

$$\angle AEB = 180^\circ - (\angle EAB + \angle EBA) = 90^\circ$$

(2) 長方形

(1) より  $\angle HEF = 90^\circ$   
 同様に考えると、 $\angle EFG = \angle FGH = \angle GHE = 90^\circ$   
 よって、4つの角がすべて等しいから、長方形である。

(3) ① ア・・・長方形 ウ・・・ $\triangle CDG$

② (証明)

$\triangle AFD$  と  $\triangle CHB$  で、

仮定より、 $AD = CB \dots \textcircled{1}$

$$\angle FAD = \angle FDA = \angle HCB = \angle HBC = 45^\circ \dots \textcircled{2}$$

$\textcircled{1}$ ,  $\textcircled{2}$ より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle AFD \equiv \triangle CHB$$

また、 $\textcircled{2}$ より2つの角が等しく、さらに  $\angle AFD = 90^\circ$  となるから、

$\triangle AFD$  は直角二等辺三角形。

よって、 $\triangle AFD$  と  $\triangle CHB$  は合同な直角二等辺三角形である。

③ 辺  $BE$ ,  $CG$ ,  $DG$

④ オ・・・正方形

カ・・・(説明例)

四角形  $EFGH$  は長方形である。

また、 $AF = BH = CH = DF$  ことと  $AE = BE = CG = DG$  より、

$$AF - AE = BH - BE = CH - CG = DF - DG$$

$$\text{よって、} EF = HE = GH = FG$$

ゆえに、長方形の4つの辺の長さがすべて等しくなるから、

四角形  $EFGH$  は正方形となる。

(4) 四角形はできない

ひし形のそれぞれの角の二等分線は、ひし形の対角線となる。2つの対角線は1点で交わるため、四角形  $EFGH$  はできない。